

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

かけはし

地域コーディネーターだより

2015. 6. 5

NO. 1

4月8日の入学式で、小学校は5名の、中学校は4名の新1年生を迎え、小学校は16名、中学校は10名となりました。保育園が休園となり少しさみしい春でしたが、小中学校みんなでいっしょに活動する機会も多く、学年の卒をこえ楽しい笑い声がこだまする小中学校です。4・5月には、小中学校合同で、リレーの練習をしたり、交流あそびをしたり、学校林活動に参加したりしました。例年以上に絆が深まっています。

今年度も、地域コーディネーターだより「かけはし」を発行し、学校と地域とのつながりにスポットをあてて、子どもたちの学習や活動の様子をお知らせしていきたいと思っています。いろいろな場面でお世話になっている葛川・久多の地域のみなさま方、今年もよろしく願いいたします。

グラントゴルフ大会 さすが！うまい！

5月1日、小学校の運動場で寿会のみなさん方と小学生でグラントゴルフ大会を行いました。朝早くから寿会の会長の岡部さんをはじめ8名の方が来てくださり、

コースを作ったり道具を準備してくださったりしました、今年の小学生は16名。新1年生5名も仲間入りです。4つのチームに分かれ、チームごとにゲームがはじまりました。チームごとに集まってまずは自己紹介。寿会のおじいちゃん、おばあちゃんは、



もうすっかりおなじみで、顔もよく知っています。自分の名前を言ってしっかり覚えてもらいました。スティックのにぎり方や立ち方を手をそえながら教えてくださるおじいちゃん、おばあちゃん。「コーン！」 飛んでいくボールを見

ながら、「ええ感じやよ〜」「うまい、うまい」とほめていただきます。毎年、いっしょに楽しませてもらっているので、さすがに高学年にもなると、ねらいを定めてスティックをふります。飛距離もけっこう



のもの。今年のはじめての1年生も、地域の行事でやったこともあり、すぐにコツをつかんできました。寿会のみなさんは、さすがです。ボールを打つと快音がひびきます。ゴールに吸い寄せられるように、ボールはゴールに近づきます。気持ちよくホールインワンも飛び出しました。おじいちゃん、おばあちゃんたちのプレイに思わず「すご〜い！」「さ〜すがあ〜」と拍手をおくる子どもたち。次々とコースを回って行くにつれて、どんどん白熱化していきます。子どもたちもだんだん慣れてきたのか、ボールがいいところに飛んでいきます。子どもたちからもホールインワンが飛び出しました。1ゲーム目がおわっても、まだまだ物足りない子どもたち。時間のある限り2ゲーム目も楽しみました。表彰式は、お

じいちゃん、おばあちゃんたちといっしょに給食を食べながら。子ども・大人の部のそれぞれ1〜3位まで、そしてホールインワン賞が大きな拍手とともにおくられました。グラントゴルフのふれあいを通して、また交流が深まりました。寿会のみなさん、ありが



4 学校林活動

鹿にまけるな



5月14日に小中学生で学校林に行きました。今年度はじめての学校林活動。アシビ谷にある学校林における年に3回の活動も、今年で5年目になります。中学生の中にはもう5年間も木の生長を見守り続けている人がいるわけです。小学校1年生ははじめての活動です。「いったいどんなところ

に山があるのか」「どんな木が植えてあるのか」「何をやるのだろう」と、行く道々からどきどき、わくわくでした。学校を出発して木戸口経由、坂下旧道入口までは、国道を歩かなければなりません。駐在所の塩山さんが子どもたちの歩く横をパトカーでゆっくり走ってくださり、安全に気を配っていただきました。

前回行ったのは、11月。その後、長い冬の間に雪や動物により山の状態は変わっていました。中西専務さん、織田さんを中心に森林組合の方々が、山の様子を見に行ってくださいたり、網の補修をしてくださったりしていましたが、春先に「獣害がひどい」というお話を聞きました。そこで、鹿さんから何とか木を守ろう、今ある木を大事に育てよう、という目的で、今年の春の学校林活動は鹿対策中心に行われました。

「ヘキサチューブ」という六角形の鉛筆型の大きな筒を木にかぶせるという作業です。前日に、森林組合の方々が杭をうって、「ヘキサチューブ」を組み立てておいてくださいました。

中西専務さん、織田さんの指導のもとに、小学生3～6年生と中学生がグループを作って「ヘキサチューブ」を設置していきました。細い筒状なので、木の枝を押さえながらかぶせていくと、窮屈そうで少し木がかわいそうにも思いましたが、



丈夫な筒で「これならぜったいに鹿さんも破れない」と太鼓判を押していただきました。また、半透明で保温効果もあり、木の生長もよくなるだろうというお話でした。事前に打っておいてくださった2本の杭とヘキサチューブを結束バンドでとめる作業もやっていくうちに慣れてきました。グループ毎に協力し声をかけ合いながら、全部で40近くもあるヘキサチューブを設置しました。

小学校1～2年生は2m近くもある山桜の苗木3本を新たに植えました。中西専務さん、織田さんに教えていただきながらスコップで深く穴を掘り、苗木を大事に入れて土をたくさんかぶせました。その後、この山桜にもヘキサチューブをかぶせました。はじめて学校



林活動をした1年生は、「きつときれいなさくらがさくと思います」「来年はどうなっているのか楽しみです」と言っていました。秋につけ直した木の名前の書いた札も冬の間に

落ちたりなくなったりしていました。そこで、木の名前の札をもう一度つけ直し

ながら、今どんな木がこの山にあるのかを確かめました。今年が最後の活動になる中学3年生は、「みんなで協力してここまでできてとてもうれしい」「中西さんと織田さんにさまざまな工夫をしてもらい、みんなの森がよい物になり



やったかいがあるなあ」「植えるときから一緒に木のお世話をしてくださったおかげで木がすごく大きく育っているなと感じます」「木が鹿とかに食べられるのはとても残





念です。でも少しずつ大きくなっていてスギは身長ぐらいに大きくなってびっくりしました。」という思いを持っていました。ヘキサチューブが威力を発揮して鹿にやられず、すくすくと木が大きくなっていくことを願っています。今回もいろいろお世話になった中西専務さん、織田さんはじめ森林組合の方々、ありがとうございました。



からねえ」など、いろいろ教えていただきました。さつまいもの話だけでなく、名前をよんでもらい覚えてもらい大喜びの子どもたちでした。とてもお天気のよい日だったので、たっぷりお水をあげてもどんどん土に吸い取られていき、何度も何度もお水をあげました。



「いっぱいおいもがとれるといいなあ」「やきいもをしてたべたいです」と収穫を楽しみにする子どもたちでした。寿会のみなさん、今年こそは動物にやられることなくたくさんのおいもがとれそうです。たくさんとれたら、いっしょにやきいもパーティーをしましょう。ありがとうございました。

さつまいもの苗植え

いっぱい おいもが とれますように



学校の運動場にある畑には、毎年、各学年でいろいろな作物を植えています。昨年一昨年もハクビシンやサルに荒らされました。「せっかく育ててきたのに何とかしてあげたい」「ちゃんと収穫できるといいのに」「それならば、シカやハクビシン、サルにも負けない頑丈な囲いを作っておこう」ということで、寿会のみなさん方が丈夫なパイプで囲いをして、

強い金網を横や天井に取り付ける作業をしてくださいました。畑をトラクターで耕して土作り、うねづくりもしていただきました。できたての無敵の畑に、小学校1・2年生が寿会の方々といっしょにさつまいもの苗を植えました。たくさんの苗を用意いただき、その置き方や土のかぶせ方など、手を取りながら教えていただきました。「葉っぱは南の方を向けえやあ」「この茎のあちこちからのびてくる



まちたんけん あつ聞こえる！あつ見つけた！



4月の終わりから、1・2年生は生活科の学習で、町探検に出かけています。自分の家のまわりはよく知っていても、一つ向こうの町は？上（かみ）は何があるの？まだまだ知らないことがいっぱいです。そこで、まずは学校に一番近い中村の探検から。その町に住んでいるお友だちがいれば、おすすめスポッ



トを案内してもらいます。歩きながら、春のにおいのかいだり、鳥の鳴き声に耳をすませます。小さな花をしゃがみこんで見たり、石をそっとのけて虫を見つけます。木戸口、坂下、平と上（かみ）の4つの町の探検が終わりました。

ふだん、車で素通りしてしまったり、ゆっくり歩くことのない町です。自分の目、耳など五感を使って発見したことはたくさんありました。探検の途中で出会った人にもあいさつをしたり、わからないことを聞いてみたりしながら、地域の方々とのふれあいも感じることができました。



この「町探検」で、今まで知らなかった町を知ることができたり、知っていた場所でも、またちがった良さを発見したりすることができました。きっとこれからは、地域のいろいろな場所でまわりの自然や建物、人々に目や耳、鼻が向けられていくことと思います。

